

## 平成 24 年度事業概況報告

平成 24 年度の介護報酬改定では、1.2%（在宅分 1.0%、施設分 0.2%）アップと  
のことでありましたが、介護職員処遇改善交付金を加算として勘案（2.0%）した数  
字であり、実質 0.8%の引き下げとなりました。また、在宅偏重のなか、従来型特養  
の報酬引き下げなど全体として介護費抑制が目立つ内容でした。

その中で、訪問介護事業の時間区分見直し（時間短縮）は訪問回数増、通所事業に  
おけるサービス時間区分の変更はサービス提供時間の柔軟化等で対応しました。自立  
支援対策としては、口腔機構向上・排泄ケア等各種委員会が新たに活動を始めました。  
また、介護職員による「喀痰吸引及び経管栄養」の一部実施も、外部研修会参加及び  
内部研修会を実施し取り組みました。各施設・事業所では、学校や学生・地域ボラン  
ティアの受け入れを積極的に行い、福祉マンパワーの養成や地域住民との連携・交流を  
深めました。

本年は第 2 次中期計画の最終年度にあたり、3 年目の目標達成に努めるとともに、  
前 2 年間の積み残しと課題を明確化し事業活動に取り組みました。その結果、年度延  
利用者人数は 3 年間で 6,158 名増となり、特に通所系ご利用者の増加が目立ちました。  
また、部署ごとにこれから 3 年後のあるべき姿を描き、その実現に向けた目標の設定、  
実施具体策を全職員が参加して検討し、次期 3 ヶ年計画を策定しました。

特別養護老人ホームゆめの里和田(定員 80 名)では、5～8 月にかけて退所・入院が  
増加しましたが、年末に多い入院は減少しました。その結果、一日平均ご利用者は  
76.2 人で計画対比 0.5 人減(前年対比 0.6 人減)となりました。短期入所(定員 4 名)  
は空床利用を含めて一日平均 6.8 人で計画対比 1.4 人増(前年対比 0.6 人増)となり、  
長期・短期合わせた一日平均ご利用者は計画対比 0.9 人増の 83.0 人となりました。

ゆめの里和田デイサービスセンター(定員 30 名)では、年間を通じてご利用者の短  
期入所・入院等によるお休みが減少し、一日平均ご利用者は計画対比 1.5 人増(前年  
対比 2.1 人増)の 24.4 人となりました。

ゆめの里訪問看護ステーションでは、ご利用者の入院・長期入所等により介護保険  
適用者は減少しましたが、医療依存度の高いご利用者が増加しています。

ゆめの里新村宅幼老所(定員 10 名)では、春先と年末に短期・長期入所等があり、  
一日平均ご利用者は計画対比 0.1 人増(前年対比 0.3 人減)の 8.9 人となりました。

特別養護老人ホームゆめの里朝日(定員 28 名)では、入・退所手続きの短縮化をは  
かり、入院治療者も少なかったことで、一日平均ご利用者は 27.6 人となり、計画同  
数(前年対比 0.4 人増)となりました。短期入所(定員 2 名)は一日平均 2.6 人で計画対  
比 0.2 人増(前年対比 0.6 人減)となり、長期・短期合わせた一日平均ご利用者は計画  
対比 0.2 人増の 30.2 人となりました。

ゆめの里朝日宅老所(定員 14 名)では、定員増により前年よりご利用者が増加しま  
したが、利用回数の多いご利用者が入所されたため、一日平均ご利用者は計画対比  
0.5 人減(前年対比 0.8 人増)の 10.5 人とどまりました。

ゆめの里福祉相談センター訪問介護では、制度改正もあり短時間利用が大幅に伸び、  
訪問回数 16,478 回、計画比 126%となりました。また、居宅介護支援では、関係機  
関との連携による相談依頼増で延ご利用者 2,496 人、計画対比 113%となりました。

松本市立松風園(定員 100 名)では、ノロ・インフルエンザの集団感染がありました  
が重症化に至らず、また松本市と連携し入所を積極的に受け入れたことで、一日平均  
93.8 人(前年対比 4.2 人増)と在籍者が増加しました。